

榛原西小だより

文責 校長

教育目標
 人権尊重の精神を基盤として、自ら学び、豊かな生活を創る、心身ともにたくましい子の育成

- めざす児童像**
- ・よく学びよく考える子
 - ・自分も人も大切に子
 - ・明るく健康でたくましい子



郷土素材の教材化に取り組む — 授業研究会 10月20日 —

10月20日(水)に校内授業研究会を行い、2年はなかまづくりの授業を公開する一方、6年が「奈良県の牛肉 — 食肉産業に携わる労働者や家族の思いに何を学ぶのか — (全13時間)」をテーマに、地域人材に協力いただいて地域素材を掘り起こしながら、家畜市場の子牛が大和牛として肉になるまでの様々な人の関わりを教材化した授業を公開し、研修を進めました。



奈良県の牛肉、牧場の仕事、と畜の仕事、枝肉をさばく仕事について、できるだけ身近な地域の方4名にお願いして、児童がそれぞれのお話を聴いていきました。感染症の影響で、オンライン学習やビデオ学習にせざるを得ませんでしたが、顔が見えるお話だったので実感をもって理解できたと思います。また、どの仕事もつながり合いながら、それぞれが向上心をもって仕事に取り組んでおられる様子を見て学べたことも、児童にとって意義がありました。

この取組を通じてできた地域教材と人のつながりは本校の大切な財産であり、今後に生かせるものになりました。

学習参観・学校評議員会 — 11月5日(金) —

今年初めてとなる学習参観・学級懇談会、第2回学校評議員会を開催しました。子供たちが生き生きと学習する様子を見ていただけたことと思います。

学校評議員さんからは、特に低学年が1学期と比べて成長している様子をおほめいただきました。

PTA 資源回収にご協力ありがとうございました

11月7日に、「大王地区の資源回収作業」を実施しました。ご協力いただきました各自治会や関係者、地域の皆様、ありがとうございました。収益金は、文化鑑賞など子供たちのために有益に活用しますので、次年度もご協力よろしく願いいたします。



12月の行事予定		
日	曜	行事
1	水	委員会活動
2	木	PTA 新役員選出会議
6	月	PTA 本部役員会
7	火	全校朝の会 5・6年音楽発表
8	水	人権を確かめ合う日
13	月	Sカウンセラー来校日
15	水	クラブ活動
16	木	ボランティア活動
20月 ~22水		個人懇談
個人懇談には 体育館前駐車場 を御利用ください		
21	火	給食最終日
23	木	2学期終業式 分団会・下校指導
冬休み 12月24日~1月6日 3学期始業式 1月7日(金)		
12月29日(水)~1月3日(月)は、 学校閉庁とします。		

職員の異動について
 本校職員の異動についてお知らせします。
 復帰 人推 細谷 和樹
 任期終了 代替 田中 成和

諸費引落しのお願い
 12月の諸費と給食費の引落日は、12月28日(火)です。口座の残高確認をよろしく願いいたします

校舎の陰が長くなったね
 ある日の下校会、3年生の女の子が運動場に出て、「校舎の陰があんなに向こうまである!」と叫んでいました。夏休み前の夏至の頃には朝礼台まで届かなかった校舎の陰が、冬至が近づいて運動場の半分近くまで伸びています。
 暮らしの中の体験で得られた知識は深く記憶に残ることでしょう。

地域の特徴を生かした学校づくり

— 宇陀市学校適正化推進委員会の発足を受けて —

先に PTA 文書で募集した宇陀市学校適正化推進委員会の PTA 代表は立候補がなく、本部役員会により吉村祥吾さん（1. 5. 6 年保護者）が委員に推薦されました。今後 2 年間をかけて宇陀市全体で具体的な小中学校のあり方が検討されます。PTA 会員の皆さまには宇陀市と本校校区の子供たちの未来のために PTA を通じて同委員会にご意見をお寄せくださいますようよろしくお願いいたします。また、同委員会の発足を受けて、学校としても「家庭・地域と共にある学校」の特色を打ち出し、保護者・地域の皆さんに示していく必要があると考えます。

本校校区に広がる美しい田園地帯。なだらかな里山と農地に、民家や鎮守の社が点在し、幹線道路から外れて小道を車で走ると、まるで映画「となりのトトロ」を思わせる懐かしい農村風景が広がります。近鉄特急の停車駅から程近くにありながら、このような美しい田園を守ってきた先人の働きは、「成長と開発」から、「持続可能な開発」へと時代が移り変わるとともに、貴重な地域の財産となっています。「テレワーク」という言葉が盛んに言われた去年今年、豊かな自然環境に恵まれた地域に住んで働き、地域の醸す生活文化の中で子育てをするという、これからの暮らし方のひとつのモデルが、本校校区にはあるのではないのでしょうか。

この 2 年間、コロナ感染症の影響で地域の人材を学校に呼ぶことが難しい状況にありましたが、そんな中であっても、本年度は本校の隣にある宇陀家畜市場から郷土史を教材化し、つながる命、つながる人の働きに対する肯定的な感情を育む取組を進めることができました。

今後も、地域の「人」「もの」「こと」と学校をつなぎ、明るい地域の未来像を描きながら、子供たちが自分の生まれ住む土地の風土や人々の働きに肯定的な感情を育む教育を、PTA やコミュニティ協議会と協力しつつ共に進め、家庭・地域と共にある学校づくりを目指したいと考えています。

11 月の学校行事から

— 実りの秋 文化・スポーツに豊かな体験 —

ピッコロコンチェルト

10 月 25 日（月）2 年生

11 月 18 日（木）3 年生

それぞれの学年が音楽の時間に練習した曲をお昼休みに披露し、自由に見に行けるミニコンサートです。演奏する人と聴く人が通じ合いながら音楽を楽しみました。



なかま集会 11 月 18 日（木）



かぎろひ夢バンドの中西さん、丸岡さんに来ていただき、ギターを生演奏を交えて人権のお話をさせていただきました。簡単なゲームをしたり、いっしょに歌を歌ったり、手話をしたりしながら、人として大切なお話を聞き、温かい気持ちになる集会でした。

自然体験学習（4, 5 年）11 月 12 日（金）

川上村 森と水の源流館・匠の聚

5 月に実施予定の臨海学習を延期して、県内で自然体験学習として実施しました。川上村での活動を通して、森と水源の働きや、その中で育まれる暮らしを学びました。



ねむの花お話し会 11 月 19 日（金）

図書ボランティアの浦西陽子さんと、チェリストの北川しのぶさんに来ていただき、チェロの生演奏を交えて、宮沢賢治の「なめとこ山の熊」のお話を聞きました。美しい挿絵、日本語、そして肌を通して感じるチェロの音色。食べ物を食べて体が育つように、芸術に触れて心が育つのです。



マラソン大会 11 月 25 日（木）



11 月 8 日から朝タイムや体育の時間を使って駆け足練習をしてきました。本番の大会では、子供たちは学年ごとにスタートし、元気に駆けていきました。先にゴールした人が後から来る人を応援する姿も素敵でした。苦しさを乗り越えてがんばった経験は必ず自信になり、生かされることでしょう。